

うるま市立高江洲中学校  
学校だより  
2017年度 第5号  
発行:校長 比嘉 政宏



# 同志小

「同志小(どうしぐわあー)」とは  
同じころざしをもった仲間(友達)が集  
まった学校を目指すという意味です。

## 実りの秋 努力の成果を発揮する2学期に

8月28日、第2学期始業式を実施しました。子どもたちの日焼けした元気な顔は、家族と共に有意義な夏休みを過ごした証だと思えます。学校でもいろいろな取組がありました。サマースクールに始まり、陸上練習、リーダー研修に多くの生徒が参加しました。そして校外では生徒会フォーラムや各部活動の大会等、子どもたちは充実した夏休みを過ごし、心身ともに大きく成長したと思えます。保護者の皆様には、学校の取組に対するご理解ご支援をいただき心から感謝しております。今後とも学校教育と家庭教育の両輪で、子どもたちの健全育成に努めていきたいと思えます。

### 沖縄県中学校夏季総合体育大会

7月22日～26日、県中体連夏季総合体育大会に次の部が出場しました。  
・男子テニス部は団体戦3位という素晴らしい成績を残しました。  
・女子は個人戦に1名が出場しベスト16でした。  
・男子バスケットボール部は1点差に涙のみ、ベスト8。  
・女子バスケットボール部は、九州大会出場権を目前に1ゴール差で敗戦しベスト4。選手の皆さんは全力プレーで各試合に臨み、応援する生徒・職員・保護者へ大きな感動を与えたと思えます。本当にお疲れ様でした。また、各保護者会の皆様には、子どもたちを支えていただき心より感謝いたします。3年生の皆さんはすでに次の目標達成に向けて始動しています。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

### 男子テニス部大活躍

本校テニス部が7月22日に行われた県中体連総体団体戦に出場し3位入賞を果たしたことは学校創立以来初の快挙です。顧問は神里将麻先生で、本校就任から3年間子どもたちと共に積み上げてきた努力が今回の素晴らしい成績に繋がったと思えます。おめでとうございます。



### うるま市生徒会フォーラム

8月4日、うるま市教育委員会主催の「生徒会フォーラム」が、きむたかホールで開催されました。全市立中学校10校の生徒会が参加し、自校の良さや課題等を発表しました。本校生徒会は、本校の特色と課題をしっかりと捉え、課題解決への対応策をパワーポイントと寸劇でわかりやすく伝えていました。大変素晴らしい発表をしていました。質疑応答では、特色ある生徒会活動への質問が多く出され、本校へは、「日本一の学校づくり」について質問がありました。本校生徒会の皆さんは『「日本一」とは取組内容を意味しており、順位を目指すものではない』と、しっかりと応えていました。



### 中頭地区陸上大会へ向けて 練習開始

9月20日の地区陸上競技大会に向けた練習が開始されました。7月24日～28日の一週間は3学年のみの先行練習が行われました。8月1日からは全学年参加の本格的な練習が開始されました。夏休み期間中の早朝練習(7時30分開始)にもかかわらず、初日から多くの生徒が参加しました。子どもたちも前年度の成績を上回ろうとやる気になっていますので、保護者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。



### エイサー練習開始

10月14日に開催される「なかきすフェスタ」に向けて、3年生のI(イ)リーダーの皆さんは夏休み期間中から練習を開始しました。今回も江洲地区青年会のご指導を受けながら、3年に1度開催される「なかきすフェスタ」を成功させるために日々頑張っています。「なかきすフェスタ」は、子どもたちの発表に加え、地域(各字)からの舞台発表がある地域ぐるみの取組になりますので、学校・家庭・地域が連携・協力して楽しい発表会になることを期待したいと思います。



### 第1回「日本一の学校づくり」アンケート

今年度も「日本一の学校づくり」に生徒・職員が協力して取り組んでいます。その成果等を調査する第1回アンケートを7月11日に実施しました。集計結果(各項目に「はい」と回答した生徒の割合)をお知らせしますので、保護者の皆様には学校や子どもたちの取組に関心を寄せていただきたいと思います。

- ①一生懸命勉強しましたか(学力) → 72%
- ②思いやりのある言動ができましたか(豊かな心) → 79%
- ③部活動や放課後の取組を頑張りましたか(健やかな体) → 86%
- ④学校生活は楽しいですか(学校生活の充実) → 82%
- ⑤夢・希望はありますか(やる気・豊かな人間性) → 81%

【考察】①の「学力」については72%と数値的には低くなっていますが、実際のところ、子どもたちの授業態度は「黙想・ベル開始」の習慣化などから考えると数値ほど悪くはありません。数値が厳しくなった理由としては、「家庭学習の習慣化」が今ひとつ徹底させきれなかったことが考えられます。改善策としては、学校・家庭が連携・協力して「授業と家庭学習の連動」の充実に努めたい。②の「豊かな心」は、言葉等による「いじめ」がなくなることが数値に表れていると考えられます。今後も道徳の授業を中心に心の教育の充実に努めたい。④の「学校は楽しい」では、約8割の生徒が「はい」と回答しているが、残り約2割の「いいえ」と回答した生徒への対応を急ぐ必要がある。⑤の「やる気」については、「何のために勉強をするのか」という目的意識の高揚を図り、近い未来の自分(生徒)像をイメージさせることでよりよい学校生活が送れるように努めたい。

### 校内リーダー研修会

8月8日(火)、本校にて「日本一の学校をめざそう」をキャッチフレーズにし、リーダー研修を実施しました。生徒会、各学級代表、各委員会委員長、各部活動キャプテン、総勢65名が参加し、学校の課題をどう解決していくか話し合いました。また、特別講師として新垣和哉先生(沖縄県警本部 生活安全部少年課課長補佐 少年サポートセンター健全育成担当)をお招きし、「いじめ防止」について講話をしていただきました。講話では、Eメールやラインのやり取りの中でいじめに至った事例紹介も交えながら、「顔が見えない、同じ空間にいない相手との話のやり取りは、重大ないじめに発展する危険性が非常に大きい」等の説明がありました。子どもたちにとって今回の研修は、身近に起こりうる「いじめ」をどう防ぐか、真剣に考え学ぶ良い機会になったと思えます。

